

書類  
綴

昭和四年十一月十六日起案

捺印者

4.11.1  
接

4.11.8  
受接

4.11.1  
主務局部  
收付者捺印

4.11.1  
案者捺印

4.12.12  
本件

4.12.12  
次件

( 証案 ) 総政本部長小

第三部長

4.12.12

大臣

大臣

書記官

大臣

第四部長

大臣

大臣

大臣

大臣

第三部長

第四部長

大臣

大臣

大臣

大臣

軍務局長

課長

第二課長

大臣

經理局長

課長

第一課長

大臣

軍需局長

課長

第一課長

大臣

0428

通 普

指取  
定拔

號番  
官房第三九之七號

每

豫量簿記載済  
五

訓令案

海軍大臣

佐鎮長官記

軍需局長官記

軍需局長官記

軍需局長官記

軍需局長官記

本件

4.11.8

受接

12.6

本件

佐世保海軍工廠ラシテ首題一件在記様ハ施行セシムベシ

言已

一、立事項

別紙一通

一、完成時期

昭和五年三月末日迄完成コト

二、貢目

船體製造費、補助船製造費、船體、船艤、貴支辨トシ金七、四〇四

以内請求候別途

別紙一通

(終)

0784

圖書番號	目錄	號ノ屬
名	數量	軍
記事		
飛船 二 砲 4 一 五 六	熱 連 三 見 回 航 備 工 事 要 領	海
	計 志 高 萬	軍
	壹	
	ヨ メ ル イ ル	

海軍艦政本部第三部控

佐世保行

艦本丸  
第 三六號



軍艦熟練二見圓航準備工事要領

0785

軍艦熱海、二見回航準備工事要領

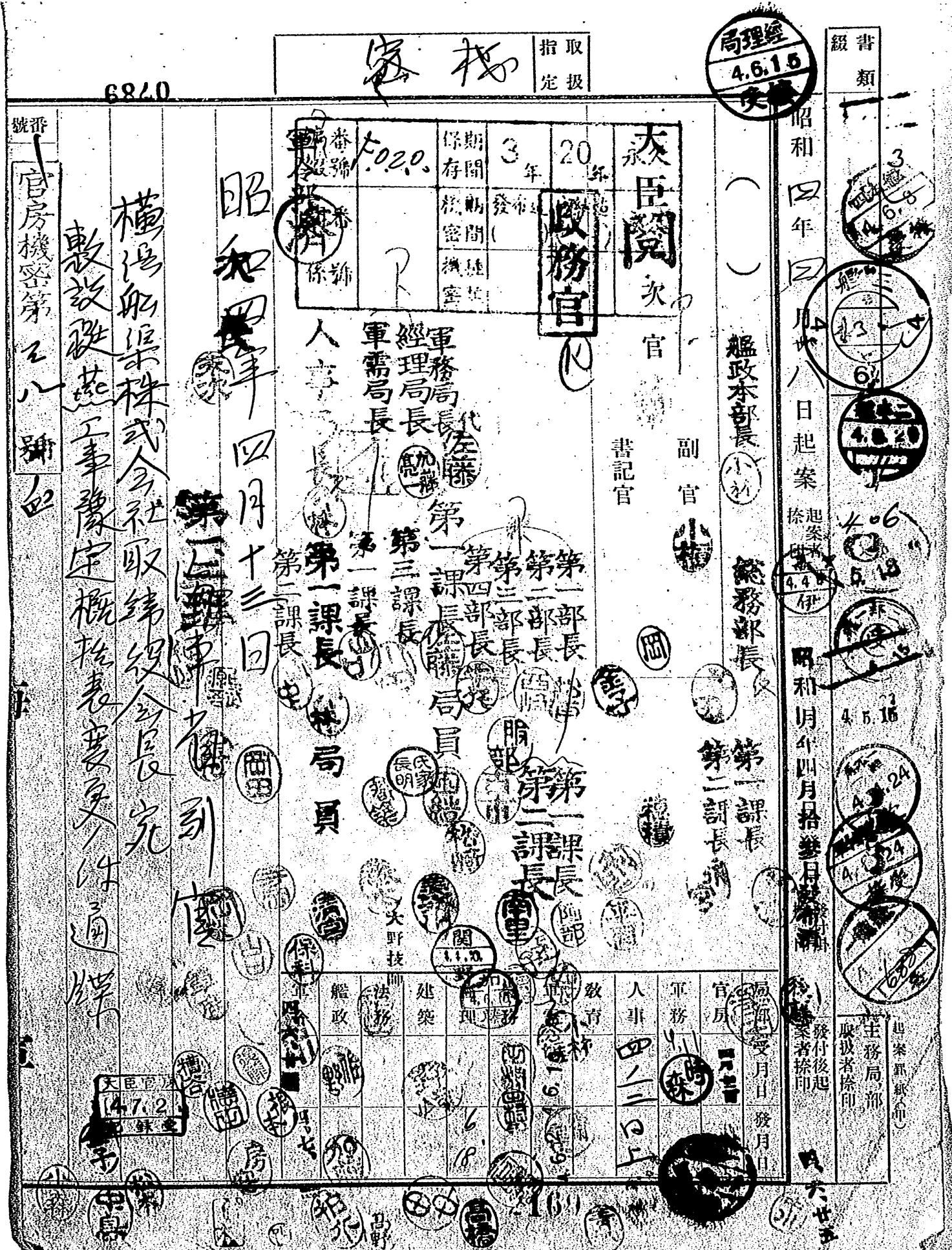
- ✓ 1、上甲板舷側全長ヲ通シテ高サ約一米三〇〇ノブルワークヲ假設シ横隔壁上部及其中間ニ適當ノ位置ニ甲板上及船内ニ支柱ヲ設ケ波浪ノ衝擊ニ供フル爲適當ナル補強ヲ施シ尙ブルワークニハ簡単ナルフリーアイソスカツトルヲ設クルモノトス
- 口、船樓甲板後部ニ於テフライング甲板間ニ木製防波壁ヲ設ケ舷側ブルワークト連結シ適當ノ補強ヲ施スモノトス
- ハ、前部揚錨機室ヨリ前部及後部酒保倉庫内ニ於テハ夫々波浪ノ衝擊ニ供フル爲船内ニ木製假補強ヲ適當ニ施スモノトス
- ニ、上甲板デツキハウス及機關室入口ハ一室一箇所甲板上約一米ノ高サ迄内部ヨリ假蓋ヲ施シ其他ノ入口ハ全部適當ナル方法ヲ以テ閉鎖スルモノトス
- ホ、石炭庫及諸倉庫入口ハ必要ニ應ジ適當ナル假設補強ヲ施スモノトス
- ヘ、デツキハウスニ於ケル舷窓ハ必要ニ應ジ假蓋ヲモ取付ケ得ル様裝備スルモノトス
- ト、被曳航裝置ヲ完備ス
- チ、エンダーナー準備ス

4840

リ、容量約三噸ノ酸素儲水タンクヲ艦内適當ナル位置ニ設置スルコト

0788

敷設艇



四月四日  
上海校務第一三六號  
司理首題

註、革緒、鳥名。辛亥年  
正月廿五更刻未，丙子年正月廿六日。

營海機密第四一一三六號

昭和四年四月四日

東監經由第

號

橫濱市中區長住町三番地

横濱船渠株式會社

四月六日

監督官經由

取締役會長 河上邦

海軍大臣 岡田啓介殿

艦政本部

敷設艇燕

工事豫定概括表變更御許可御願ノ件

豫而御下命相蒙リ建造中ニ候敷設艇燕工事豫定概括表昭和四年  
一月二十三日附官房機密第三八號ノニテ以テ御承認相賜リ居候  
處四月四日附經理局長殿並ニ艦政本部長殿宛弊信營海機密第四  
一一三五號ヲ以テ願出候通り弊社同盟罷業ノタメ進水期日ヲ四  
月二十四日ニ延期ノ已ムナキニ至リ從而進水後餘日無之本艇御  
契約期日迄ニ完成致難キ事情ト相成候タメ御引渡期日ヲ七月十  
五日迄延期方御承認願出候ニ就テハ右御承認賜候上ハ添付工事

官房機密第三八號ノシノ

横濱船渠株式會社

0791

豫定概括表ニヨリ工事進捗爲致度存候間甚恐縮ニ存候得共何卒  
事情御諒察被下右御承認相賜度伏而奉懇願候

改正工事豫定概括表  
一通添

敬具

敷設艇燕工事豫定概括表

工事名稱	着手年月日	竣工年月日
一、起工（キール据付）	昭和三年九月十七日	
二、進水：	昭和四年四月廿四日 三月廿六日	
三、艤積込	三月下旬	
四、主機積込	四月中旬	
五、主砲積込	五月上旬	
六、豫行運轉	五月上旬	
七、公試運轉	六月中旬	
八、砲熗公試	六月中旬	
九、引渡	七月十五日 六月十五日	
	同	昭和四年四月上旬
	同	四月中旬
	同	五月上旬
	同	六月上旬
	同	六月中旬
	同	六月中旬
	同	六月中旬
註、朱書：官房核密第三八號ノヲ以テ申認許清ノモ、申奉考ノ付記致置候。	以上	

横濱船渠株式會社

0793